



「教科等の本質的な学びを踏まえたアクティブ・ラーニングの視点からの学習・指導方法の改善のための実践研究」に係る公開研究会を開催

平成29年1月20日（金）、本校を会場に「教科等の本質的な学びを踏まえたアクティブ・ラーニングの視点からの学習・指導方法の改善のための実践研究」に係る公開研究会（主催：北海道教育委員会）を開催しました。全道各地から参加された先生方をはじめ総勢約70名により研究会が行われました。

数学の公開授業



授業者 東京学芸大学数学科教育学分野教授 西村圭一 様
本校1年生の1クラスを対象に西村先生が数学の授業を行いました。抽象的な数学の世界のみで数学の事象を扱うのではなく、日常生活や社会の事象と結び付けることで、数学の問題を発見し、解決の道筋を考えていくことを意識した授業となりました。

視学官による講義



テーマ 「育成すべき資質・能力を育むために」
講師 文部科学省初等中等教育局視学官 長尾篤志 様
アクティブ・ラーニングの視点とは一定の型を示すものではなく、「主体的・対話的で深い学び」を促すためのものであり、今後は探究的に学ぶことが重要となる。生徒たちが、間違えたり、分からないと言えたりすることを許容できる集団づくりが求められることなど、示唆に富んだお話をいただきました。

がんばれ受験生
～合格祈願～
生徒玄関ホールに
置かれた「飛梅」



1月7日～15日、
ボストンへの海外
研修（ハーバード大
学、MIT）に1年
生43名が参加し
ました。その様子は
本校Webページで

今年も太宰府天満宮から「飛梅」の鉢が寄贈されました。北海道と福岡の友好親睦の取組の一環として、日本航空より毎年道内のいくつかの高校に梅鉢が贈られています。本校には1月25日、日本航空の職員の方が来校され、直接お届けいただきました。

本校への学校視察の状況

- 10月3日 神戸大学附属中学校から（地歴科）
- 10月7日 釧路江南高校から（進路指導）
- 11月2日 岡山県立林野高校から（SPARK）
- 11月2日 新潟県立新潟高から（SPARK）
- 12月14日 市立函館高校から（SPARK）
- 12月14日 宮城県立宮城野高校から（理科）

【文部科学省】「教科等の本質的な学びを踏まえたアクティブ・ラーニングの視点からの学習・指導方法の改善のための実践研究」拠点校

北海道札幌北高等学校

<http://www.satsukita.ed.jp/>

〒001-0025

北海道札幌市北区北25条西11丁目

